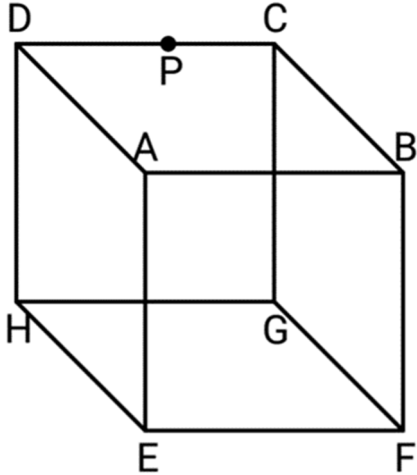


芸術的な高校入試第 29 回

出典：2018 年度 都立立川高校 大問 4	
難易度：★★★★☆☆	美しさ：★★★★★☆☆
総試験時間：50 分	配点：24 点/100 点

下の図のように、1 辺の長さが 6 cm の立方体 ABCD-EFGH があります。点 P は、正方形 ABCD の辺上を動く点です。次の問いに答えなさい。



- 問 1 点 P が辺 AB 上にあり、 $AP : PB = 2 : 1$ のとき、四角錐 P-EFGH の辺の中で、最も長い辺の長さは何 cm か。
- 問 2 点 P が辺 CD 上にあるとき、四角錐 P-EFGH の側面積が最も小さくなる場合の四角錐 P-EFGH の側面積は何 cm^2 か。ただし、答えだけでなく、答えを求める過程が分かるように、途中の式や計算なども書け。
- 問 3 点 P が、正方形 ABCD の辺上を $A \rightarrow B \rightarrow C \rightarrow D \rightarrow A$ と 1 周するとき、四角錐 P-EFGH が動いて出来る部分の体積を求めよ。

【解答例】

問 1 (7 点)

P から EF に垂線 PQ を下ろす。PQ=6 cm, HQ=
 $\sqrt{36+16}=\sqrt{52}$ cm より, $HP=\sqrt{36+52}=\sqrt{88}$
 $=2\sqrt{22}$ cm

問 2 (10 点)

$\triangle PEF+\triangle PFG+\triangle PGH+\triangle PHE$ の和が最も小さくなれば良い。

DC//EF, DC//HG より, (等積変形の考えから) $\triangle PEF$ と $\triangle PGH$ の面積は一定である。

P から EF に垂線を下ろすと, その長さは $6\sqrt{2}$ cm だから,

$$\triangle PEF = \frac{1}{2} \times 6 \times 6\sqrt{2} = 18\sqrt{2} \text{ cm}^2$$

$$\triangle PGH = \frac{1}{2} \times 6 \times 6 = 18 \text{ cm}^2$$

$\triangle PFG$ と $\triangle PHE$ はそれぞれ PG, PH が高さとなるので, PG+PH の長さが最小となればよい。このとき, P は線分 CD の中点にあればよいから (※)

$$PG = PH = 3\sqrt{5} \text{ cm}$$

$$\triangle PFG = \triangle PHE = \frac{1}{2} \times 6 \times 3\sqrt{5} = 9\sqrt{5} \text{ cm}^2$$

よって求める側面積は,

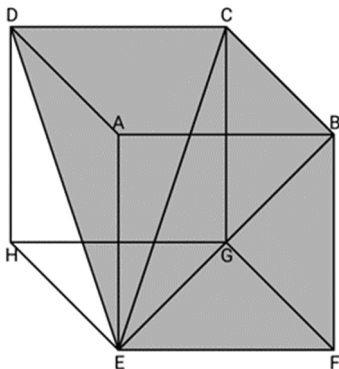
$$18\sqrt{2} + 18 + 2 \times 9\sqrt{5} = 18 + 18\sqrt{2} + 18\sqrt{5} \text{ cm}^2$$

問 3 (7 点)

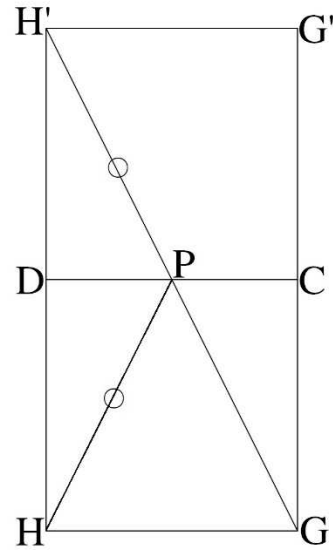
線分 EP のみを考えると, 下の図のように, EP が通らない部分に出来る図形は, 正四角錐となる。他の FP, GP, HP でも同様と考えられる。

立方体から, 正四角錐の交わる体積を引けばよい。正四角錐の交わる体積は, 立方体の中心を R とすると, 正四角錐 R-ABCD となる。したがって求める体積は,

$$216 - \frac{1}{3} \times 36 \times 3 = 216 - 36 = 180 \text{ cm}^3$$



(※) 展開図を描いて最短距離求める問題によくあるやつ



立川の模範解答にはこの図が添えてあったので, 一言この図を添えて何か書いておくと better かもしれない。

【コメント】

元の問題は図が2個しっかり描かれていたのですが (図を作るのが面倒くさいので) プリントには1個です。元の問題も図がシンプルながら, 結構考えさせられる問題です。問2は面倒なだけな気がします。

問3が非常に良い問題です。知識自体は, 中1だけで解けます。(簡単ではありませんが) こういう問題が, 今年度大幅に範囲削除された高校受験では狙われるでしょう。やっておくと良いかも?

【作成】

高校入試 数学 良問・難問

<https://hokkaimath.jp/>